

(様式1)

令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
県民公園頼成の森 自然保護課

2 施設所在地  
砺波市頼成156

3 施設設置年度  
昭和50 年度

4 設置目的  
県民公園の自然風致公園として、県民に森林を生かした休養、レクリエーションの場を提供することを目的として設置された公園で、森林と花しょうぶ園の適切な管理を行うとともに、森林学習の場として森林科学館の有効活用を図る。

5 施設概要  
・敷地面積  
115 ha  
・主な施設  
森林科学館：木造平屋建て 361.164㎡  
水生植物園：約6 ha 花しょうぶ（600品種、70万株）  
遊歩道：総延長13.4km  
展示林（第20回全国植樹祭会場跡地）  
バーベキュー施設：8人用10卓

6 指定管理者  
公益財団法人 花と緑の銀行

7 指定期間  
3 年  
令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R1	R2	R3	R4	R5
158,634	111,215	128,769	147,388	130,578

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R1	R2	R3	R4	R5
—	—	—	—	—

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R1	R2	R3	R4	R5
—	—	—	—	—

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

目標値は、入園者数160千人、花しょうぶ祭り60千人である。令和5年度の入園者数は131千人、うち花しょうぶ祭り45千人で、いずれも目標値を達成することができなかった。また、令和4年度の実績も下回った。原因としては7月豪雨による施設被害や猛暑、熊の異常出没等による野外活動の停滞、年明けの地震の影響があったこと、又、花しょうぶ祭りでは曇りや雨の日が多かったことが一要因であったと考えられる。

一方、バーベキュー利用者は、コロナ前の水準に戻りつつある。また、竹や木材等を活用した工作やものづくり教室の参加者は734人と、令和4年度の369人を上回った。屋根付き環境での活動であり、天候等の影響が少なかったと考えられる。

### (2) サービス向上に向けた取組み

- ・杉展示林の間伐及び枝打ちを実施し、健全な森づくりと良好な景観確保に努めた。
- ・森林科学館来館者等への自然情報提供などの際、丁寧な対応に心がけた。
- ・より開かれた県民公園とするため、夏休みの子ども向けイベントを充実。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・イベント情報をより多くの県民が得られるよう、イベント案内パンフレットを砺波市内外の児童施設や公共施設等に配布。又、ホームページ、ブログ（頼成の森だより）によって、頼成の森の自然イベント情報をリアルタイムで提供した。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	通年、森林科学館にアンケートボックスを設置
回答者数	19件
結果	「工作が楽しかった」「木の名前が知れて良かった」など好意的な意見が多いが、「工作コーナーのボンドの中身がなかった」「バーベキュー施設に自動販売機が欲しい」等の意見もあった。
結果を踏まえた改善事項	ボンドの点検・補充等はすぐに対応。 自動販売機は対応困難→熱中対策用に科学館に飲料を常備。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

アンケートの実施に加え、イベント参加者や森林科学館入館者などへのあいさつ、声掛けを積極的に行い、率直な意見を頂けるよう努めている。

#### ③ 主な苦情と対応

- ・遊歩道に風倒木あり危険→撤去
- ・集水枡グレーチングに穴あり、危険の指摘→補修

### (5) 個人情報保護の取組み

個人情報に関する指針を定めて職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

### (6) 関係団体との連携

花しょうぶ祭り実行委員会の一員として、砺波市、砺波市観光協会、砺波商工会議所、地元自治振興会等の関係団体と連携をとり、祭りの開催の内容等を検討した。

### (7) 施設・設備の維持管理

- ・7月の豪雨災害被害に対して迅速に調査し復旧工事を実施。
- ・その他は適切に維持・管理されている。

### (8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・遊歩道沿いの枯損木、傾斜木等を処理し、利用者への安全確保に努めた。
- ・9月以降熊の異常出没に対応するため、近隣での目撃情報を森林科学博物館周辺に掲示するとともに、熊よけ鈴の貸し出しを実施。

## 10 所管課の管理運営確認状況

	有/無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	56
③個人情報に関するトラブルの有無	無	—
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	有	2

### 【トラブルの具体的内容と対応】

・7月の記録的豪雨で、園内に大規模被害→速やかに調査・報告し、復旧工事を実施  
・遊歩道で転倒し受傷する事故→粘土質で滑りやすい土質の為、スリップ事故注意の看板を増設

## 11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

令和5年度は、豪雨被害や地震等の自然災害により、敷地内施設の損壊や花しょうぶ園・水路工の埋没等が大きく、一部通行や使用が制限された。加えて猛暑等の天候、熊の出没増等が影響し、来場者の減少につながったと考えられる。  
野外活動は天候に左右されることが多いので、天候不順の際は、森の奥まで入り込まずに、森林科学館周辺だけでも楽しんでもらえるよう、森林科学館での工作体験コーナーやバーベキュー施設の一層の充実を図るとともに、周辺花木の整備等、魅力ある施設運営に努めていく。